

大山の森だより

2017年
春号

「ナナカマドの言伝えが的中！」



大山ではこの冬、1月23日から25日と2月10日から12日の2回、大雪に見舞われました。

大山ではナナカマドの実が豊作の冬は大雪という言伝えがありますが、昨年の秋は大豊作でした。



大雪の基準を大山情報館周辺の積雪量が2メートルを超えた場合の事として、最近10年の的中率を見ると、8割の確率です。
※ナナカマドが多いか少ないかは大山寺地区の地元民基準

さて今年のナナカマドはどのようなのでしょうか？

冬期 自然ふれあい事業 活動報告

大山のふところ散策シリーズ 2016年度の冬は、大山の普段行けない場所を巡るツアーを企画しました。

初冬の一の沢を歩く

(12/3)



○雲一つない青空に大山の南壁が映えました。秋の木の実やキノコ観察も交えてハイク、途中でイヌワシらしい猛禽類の姿も確認でき、参加者大満足のさわやかな観察会でした。

スノーシューで行く大山の幻の滝 (1/21)



○かつて呼滝山と呼ばれていた豪円山の稚児滝に行ってきました。ここは普段は笹藪が深く近づけない場所。垂直の岩壁に張り付く無数のツララを見て参加者は感嘆の声を漏らしていました。

スノーシューで行く大神山神社奥宮と金門(2/4)



○素晴らしい青空のもと、寂静山の裏の森を抜け、大神山神社の裏手を滑り降りて金門に向かうというスノーシューの醍醐味を味わえるコースが好評でした。森の中では雪の上に残る生き物の足跡や木々の冬芽を観察しました。

鏡ヶ成巨木めぐり

(3/18)



○烏ヶ山はブナやミズナラの巨木に出会えるスノーシューハイクに絶好な場所。今回は蒜山ツアーデスクの西村ガイドの自然解説を楽しみながら目標のブナ巨木を目指しました。苦労して登った眉山からの絶景にみなさん感激していました。

■自然公園財団では、季節ごとに観察会などを開催しています。

予約なしでも参加できるイベントもありますので、是非ご参加ください。

裏面にイベント情報を掲載しています。

冬芽

Before → After

冬の大山の森で厳しい寒さを耐える木々の冬芽を観察しました。冬芽とは、落葉樹が秋に葉を落とし、春に再び芽を出すために準備したものです。冬芽にはさまざまな形がありますが、今回は大山大で見られる特徴的な冬芽を紹介します。この冬芽が春にはどんな姿に変身しているのでしょうか。

【タムシバ】



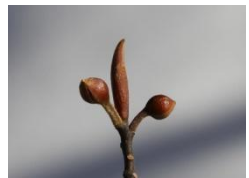
花芽は大きく、灰色の長い毛のついた皮に覆われています。早春、毛皮のような包みの中から真っ白な花びらが顔を覗かせます。コブシによく似ていますが、コブシは花芽の下に小さな葉芽も付いています。大山大では裾野にコブシ、中腹以上にタムシバが自生しています。

【ブナ】



冬芽は細長い水滴型、細かなうろこ状の皮に覆われています。皮がはがれ落ちた後に、萌木色の新芽が開いてきます。新芽はこまかい毛が生えていますが、新緑が過ぎるとつやつやした葉に変わります。大山大では標高800メートルから1300メートルで多く見られます。

【クロモジ】



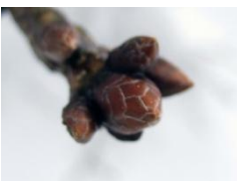
冬芽は長い水滴型で両脇に柄の付いたタマネギ型の花芽があります。若い枝は緑色ですが古くなると黒くにじんできます。その黒ずみ方が文字のように見えるというのが名前の由来です。大山大ではブナの森の中から裾野の雑木林の中までふつうに見られる灌木です。

【オオカメノキ】



細かい毛でおおわれた冬芽は丸い花芽といっしょに3個並ぶとウサギのように見えます。春になるとシワシワの新芽が伸び、亀の甲羅のような形の大きな葉が開きます。上向きにたくさん咲くガクアジサイのような白い花は大山中腹の落葉樹の森を明るく彩ります。

【ミズナラ】



冬芽は水滴形から卵型。こまかいうろこ状の皮に覆われています。枝の先端はたくさんの冬芽が集まっています。切れ込みの深いギザギザした葉が軸の元までであるのが特徴です。大山大では標高500メートルから1100メートルにかけて多く見られるドングリの木です。

「大山周辺での出来事」 2016年12月1日～2017年3月17日

12月23日 スキー場開き祭 大山・槻水



だいせんホワイトリ조트
300人の参加者が見守る
中、安全祈願と併せて雪乞
い祈願が行われました。



槻水高原スキー場
神事の前から雪が降り出
し、関係者も一安心。抽選
会也大盛り上がり。

12月31日 靈宝大山たいまつ行列カウントダウン！

大山寺から大神山神社奥
宮までたいまつをかざして
歩きました。100名以上の
方が参加。



2月3日 大山寺節分会

本堂で大般若経600巻
が転読され、「福は内！福
は内！福は内！」の声とと
もに福豆がまかれました。



春に海外から大山に渡ってくる鳥たち～インバウンドは昔から～

最近、大山でも海外からのお客様が多くなりました。春は海外からいろいろな鳥が繁殖のためにやってくる季節。彼らのさえずりで大山がにぎやかになります。そんな春の大山で見られる(聴かれる)主な夏鳥をご紹介します。彼らはどこからやってきているのでしょうか。※大山自然観察会 大山の野鳥チェックリスト・イラスト使用



キビタキ

鳴き声:ピッコロ ピッコロ オーシツクツク ホイヒーロ
大きさ:スズメぐらい
どこから:フィリピンなどから

オオルリ

鳴き声:ピーリー ポピーリポピーリ ジジッ
大きさ:スズメより少し大きい
どこから:マレーシア、カンボジア、インドネシアなどから



ツツドリ



鳴き声:ポポ ポポ
大きさ:ハトより少し小さい
どこから:フィリピンなどから

イワツバメ

鳴き声:ピーイー ピイチイチウギュギュギュ※飛びながら鳴く
大きさ:スズメより少し小さい
どこから:中国南部、ラオス・ミャンマーの北部などから



クロツグミ

鳴き声:キョキョ キョローンキョローン
大きさ:スズメとハトの間
どこから:ベトナム、中国南部から

ーイベント情報 (4月~7月)ー

■自然公園財団のイベント (予定 2017年3月17日現在)

<p>鏡ヶ成山開き・擬宝珠山登山 (共催事業)</p> <p>開催日:4月28日(金)9:00~12:00頃 会場:江府町鏡ヶ成 集合場所:休暇村奥大山 レストハウス前 参加費:無料 定員先着 100名</p> 	<p>内容:カタクリの花咲く擬宝珠山(1110m)を自然ガイドとともに登ります。歩行距離2km。高低差200m。下山後には温かい団子汁(予定)が待っています。 ※申し込み:0859-75-2300 休暇村奥大山</p>
<p>大山春の花観察会</p> <p>開催日:5月13日(土)13:00~16:00頃 会場:大山町大山 下山キャンプ場周辺 集合場所:大山情報館1F 自然公園財団前 参加費:1000円</p>	<p>内容:春の花を探して大山寺阿弥陀堂周辺を歩きます。花の観察の後はクロモジ茶と世界の蜂蜜試食会。美しいだけではない花の秘密をお伝えします。 定員 15名</p>
<p>大山寺春祭り 大山古道「坊領道」ウォーク</p> <p>開催日:5月24日(水)7:00~12:00頃 会場:大山寺 集合場所:大山町宮内 仁王堂公園 参加費:1500円 途中バス代 250円別途</p>	<p>内容:大山寺春祭りに合わせて、大山古道の一つ「坊領道」を歩きます。大山寺到着後は華麗な「御輿行幸」を観覧します。定員 20名 ※大山青年の家前からバス乗車</p>
<p>大山野鳥観察会</p> <p>開催日:6月10日(土)9:00~12:00頃 会場:大山寺周辺 集合場所:大山情報館1F 自然公園財団前 参加費:1000円</p>	<p>内容:鳴き声や姿が美しいオオルリ・キビタキを中心に、大山の野鳥を観察します。講師は日本野鳥の会鳥取県支部。 定員 20名</p> 
<p>柘水高原・アサギマダラ観察会</p> <p>開催日:7月1日(土)13:00~16:00頃 会場:伯耆町柘水高原 集合場所:柘水高原フィールドステーション 参加費:1000円 天空リフト料別途 片道 500円</p> 	<p>内容:柘水高原の森は旅する蝶「アサギマダラ」の群れが見られる知られざる名所。足元から大型の青い蝶がフワフワと舞い立つ様子は圧巻です。観察の後はクロモジ茶と世界の蜂蜜試食会。定員 15名</p>

■周辺のイベント

大山春の一斉清掃

4月16日(日) 行楽シーズンを前に、大山町、伯耆町の各所で大山春の一斉清掃が行われます。当日参加も可能。9時まで、大山町:大山寺博労座駐車場 伯耆町:柘水高原 まつおか食堂前 に集合。

問い合わせ:大山町、伯耆町の各役場

大山夏山開き祭

6月3日(土)前夜祭では、大神山神社奥宮で安全祈願神事後、たいまつ行列が行われます。

6月4日(日)山頂祭では、登山者の安全を祈願して、大山頂上で10時より神事が行われます。

問い合わせ:0859-52-2502 大山町観光案内所

一般財団法人 自然公園財団 鳥取支部 大山事業地

〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33(大山情報館1階)

TEL: 0859-52-2165 FAX:0859-52-2370

URL <http://www.bes.or.jp/daisen/>

